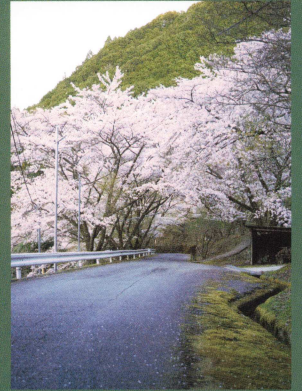


残された景色、
忘れたくない美しさが
そこにはあった——。



第72回サン・セバスチャン国際映画祭の新人監督部門に最年少で選出、「奥深い日本の暮らしを描いている」と賛され、アジア最大規模の映画祭、第28回釜山国際映画祭 A Window on Asian Cinema部門招待作品としてアジアプレミアを遂げた本作。メガホンをとったのは、若手クリエイターの台頭、今、最も映画館で観てほしい監督 **村瀬大智**。本作で長編商業デビューとなる。物語の舞台となった奈良県吉野にある川上村に村瀬監督自ら単独で長期滞在し、現地の人々との交流から生まれたこの物語は、この村で実際にある老舗旅館を舞台にどこか懐かしく、親しみのある目線で「家族の物語」を描いている。

本作の主演を務めるのは、オーディションで抜擢された奈良県出身の新人俳優 **三宅朱莉**。老舗旅館を営む家に生まれた主人公・イヒカ役を演じ、子供から大人への揺れ動く佇まいを瑞々しく表現、映画の中で存在感を放っている。またイヒカの母・咲を演じるのは、「喜劇 愛妻物語」、「滑走路」(20)でキネマ旬報ベスト・テン主演女優賞ほか多くの映画賞を受賞する実力派俳優 **水川あさみ**。別居中の旦那の実家の旅館を切り盛りするという複雑な状況の中、娘の成長を見守る母親を真つぐに演じる。そして、イヒカの父・良治役を演じるのは、『母性』(22)、『ケイコ 目を澄ませて』(22)など話題作に多数出演する映画界に欠かせない俳優 **三浦誠己**。更に、イヒカの祖父・シゲ役を演じるのは、TBSドラマ「水戸黄門」シリーズ等人気ドラマシリーズをはじめ、数々のVシネマの名作に出演する名優 **堀田真三**が出演。

どこか懐かしく、一瞬、一瞬がとても心地よい、今、この時代だからこそ残したい大切な時間を丁寧に映し出した傑作が誕生した。



STORY

奈良県南東部の山々に囲まれたある静かな集落。かつては商店や旅館が軒を並べ、登山客などで賑わったこの集落で、代々旅館を営む家に生まれた12歳のイヒカ。数年前から父は別居をしているが、母の咲は、父との結婚を機に嫁いだこの旅館を義理の父・シゲと切り盛りしている。そんなある日、シゲが姿を消してしまう。

旅館存続の危機が迫る中、
イヒカの家族に変化の時がやってくる——。



4月6日(土) ユーロスペース独占先行
4月19日(金) TOHOシネマズ シャンテ 他全国順次公開

©2023「霧の淵」Nara International Film Festival

📷 @kiri_no_fuchi24

映画最新情報



すべて、永遠じゃない。

霧の淵

Beyond the Fog



第72回
サンセバスティアン国際映画祭
新人監督部門ノミネート



第28回釜山国際映画祭
A Window on Asian Cinema部門
招待作品

三宅朱莉 三浦誠己 堀田真三
水川あさみ

監督・脚本 村瀬大智

シネマランドラマ・トーイ 河瀬直美 ノミネーター 吉岡プロレス 亜衣子
撮影 百々武 録音 森英司 照明 藤江立 美術 塩川節子
助監督 福嶋賢治 制作担当 濱本敏治 編集 唯野浩平
音楽 梅村和史 衣裳 山上順子 シェイクアップ 南辻光宏 中野奏子
編集 唯野浩平 音楽 梅村和文 撮影助手 田安仁
照明助手 楠哲也 八十川和博 録音助手 増田岳彦
美術助手 岡本まりの 監督助手 石井千秋 制作主任 藤原達昭
メイクアップ 川添ピラール エキル 植谷綾二
製作なら 国際映画祭 助成 奈良興 川上村 奈良市



NARATIVE